

情報コーナー

◆アジア文化サロン「シリアのお茶と文化」◆

シリアのお茶とお茶菓子をいただきながら、気軽にシリアのお茶と文化についてお話ししましょう。

[日 時] 12月19日(日) 午後1時30分～午後3時

[会 場] 日立シビックセンター 会議室 502号

[講 師] ムハンマド・ナジーブ・アルヘブラウィ氏(シリア・アラブ共和国出身)

[料 金] 全席自由 500円(お茶菓子代込み)

[申込受付中] 電話 0294-24-7711



関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2021年10月～2022年3月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
ひたち生き生き百年塾	(仮)カンブリアン・ロック展★	12月21日(火)～ 2022年1月16日(日)	日立市南部図書館 ギャラリー	0294-23-9165 (百年塾サロン)
日立市日中友好協会	春節祭	2022年1月30日(日)	日立市民会館	090-2912-4461 (日立市日中友好協会)
フレンドリーあんず	日本語教室	毎週火曜日 19:00～20:30	女性センター	0294-42-4448(庄司)
		毎週金曜日 14:00～15:30	教育プラザ	0294-42-9572(宇都木)
	外国人のための生け花クラブ	月1回 10:00～11:30	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	年忘れ会★	12月12日(日) 9:00～16:00	会瀬交流センター	0294-36-5440(長山)
国際交流ボランティア ネットワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00～11:30	教育プラザ	0294-34-6257(臼井)
		毎週土曜日 10:00～11:30	女性センター	
日立国際交流協議会	フレンドシップ・キルト展★	2022年3月2日(水)～ 3月6日(日) 10:00～17:00(最終日 16:00)	日立シビックセンター ギャラリー	0294-22-3111 (日立市文化・国際課)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または内容を変更する場合があります。

活動記録 (2021.5.1～9.30)

- ◆活動推進部会(定例会)
 - 各月第3金曜日 6/18, 7/16
 - チーム長以上会議 5/3, 8/20, 9/8
 - ・料理チーム 7/16, 8/20
 - ・研修見学チーム 7/16
 - ・広報チーム 7/16, 8/20

- ◆令和3年度会員 118人(9/30現在)
- ◆活動推進部会 34人(9/30現在)

編集後記

コロナ禍により、昨年から当会の活動が低調になってしまいました。しかしながら、会員の熱意により、「継続は力なり」と知恵を絞り工夫して活動を行っています。本年度後期も、ひたち国際文化まつり(11/7)、文化サロン(12/19)等が計画されています。感染症に最大の注意を払いながらの実施となりますが、関係者の熱意には頭が下がります。活動が低調なため、この広報紙もネタ不足で作成に苦慮していますが、会員の皆さんとのコミュニケーションの一つとしての重要な役割があり、頑張って継続発行しています。こういう時こそ下を向かず、皆さんひとり一人と楽しく元気に活動していきたいと思えます。(菊池記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。<http://www.civic.jp>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで

TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第66号

2021年(令和3年)10月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報チーム

アジア文化講演会 開催

「新型コロナ時代のSDGsとアジア—カンボジア、ベトナム、ミャンマー等と日本—」

講師 野田 真里^{まさと} 茨城大学人文社会科学部准教授

8月1日(日)、日立シビックセンターに茨城大学人文社会科学部の野田真里准教授をお招きし、「新型コロナ時代のSDGsとアジア—カンボジア、ベトナム、ミャンマー等と日本—」と題したアジア文化講演会を開催しました。

講師の野田先生は、国際開発学、持続可能な開発と「SDGs」の研究を専門とされ、『持続可能な開発における「文化」の居場所—「誰一人取り残さない」開発への応答』など多数の著書も出版されています。今回は、その講演会について報告します。



講師：野田先生

はじめに、東南アジア各国の経済、宗教、政治状況などの概説後、今回のメインテーマである「SDGs」についてお話いただきました。

「SDGs」とは、2015年の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」と訳されています。この目標は、2030年を期限とし、「誰一人取り残さない」という理念のもと、私たちがこの地球で暮らし続けていくために立てられました。「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」などの17の目標と、それらを達成するための169のターゲットなどから構成されています。

SDGsという言葉が頻りに耳にする昨今の状況の背景には、世界全体が、貧困、紛争、気候変動、感染症など、これまでにない数多くの課題に直面し、人類が安定して暮らし続けられなくなるとの共通した危機感があるのではないかとのことです。

次に、「自分事としてのSDGs」として、企業と住民の協働により克服した日立鉾山の煙害問題、地域社会と地球規模の課題が直結しているコロナ禍の二つの事例が挙げられました。

前者は、富国強兵のもとに全国で銅の生産が国策として推進される中で生じ、地域住民に健康被害をもたらしました。

後者は、SDGsの全ての目標と関連し、地球上の誰にとっても他人事ではないものとなっています。日本においても経済と社会に大きな影響を与え、シングルマザー世帯の困窮、子どもの教育機会の減少、孤の進展など様々な問題が発生しています。

両事例とも、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」ことが重要であり、私たち一人ひとりが「自分事」にしていく必要があるとのことでした。

続いて、東南アジアの経済とコロナ禍の影響に触れ、一人当たりのGDP及び生産年齢人口の比率、人口の増加などを踏まえると、各国とも今後の経済発展の伸びしろは大きいとのことでした。しかし、コロナ禍は東南アジアにも大きな影響を与え、製造販売までの一連の流れ等を通じ、その影響が、世界、そして日本経済にも波及しているとのことでした。

最後に、「世界は変えられる」として、「貧困、差別、戦争、気候変動など人間が作り出した災いは、人間によって解決できるし、また解決すべきである。私たち自身のため、次世代のため、そして人類全体の平和と繁栄のために。COVID-19の教訓とSDGsについては、一人ひとりの意識や行動の変容が鍵で、地域が変われば国や世界が変わることにつながる。SDGsで持続可能な未来をアジアと共に創っていきましょう。」と締めくくりました。



会場の様子

当日は、当会会員と一般聴講の方と併せて42名の参加があり、野田先生の大変興味深い講演に多くの質問が出されましたが、予定時間を過ぎてからも最後まで丁寧にご回答いただきました。

SDGsが「自分事」に感じられるようになる貴重な講演会となりました。

コロナ禍での活動報告(2)

市内国際文化交流団体の近況について

市内で国際文化交流活動を行っている団体は、昨年から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き活動を模索しています。昨年10月発行「ひたちとアジア」64号の、活動報告第2弾として、各団体の近況をお知らせします。

<日立市日中友好協会>

2021年度日立市日中友好協会定時総会が6月に開催され、当初から25年間日中友好の発展のため尽くしてこられた森秀男会長に代わって、新会長に藤井生美氏が承認されました。今後、藤井会長を中心に会運営されます。

目の前の課題「第19回ひたち国際文化まつり」については、昨年に引き続きパンダアート市内展を中心に入賞100点ほどの展示と、入賞者には、密を避けるため学校別に時間を設け、表彰式を行う予定です。また、パンダのぬいぐるみも販売予定となっています。1階ギャラリーには、県日中友好協会の入賞作品35点を展示します。



昨年の文化まつりのようす

2017年に行われた「日立市日中友好の旅」の折にパンダとたわむれていた、ビデオや写真の紹介も予定しています。お楽しみに。

<日立さくら日本語学校>

新型コロナ感染拡大の影響により、多くの留学生の入学が叶わないまま現在に至っています。2021年4月時点で、海外の待機留学生の数は、日本語教育機関だけでも2万7千人に上るとい試算もあります。本校も例外ではなく、母国内で入学を待ち続けている学生が大勢います。コロナ収束の目途がたたない中、この入国制限が待機留学生たちの人生に与えている影響は計り知れません。

一方、当校の在校生34名は、特別編成で感染対策の強化をしながら授業を受けています。コロナ禍でアルバイトの機会が減り、経済的に困窮していますが、日立市教育委員会が募集した、小中学校のサポート業務を行う有償のボランティア活動に参加したり、フードバンクの援助や、地域の皆様からの温かい支援を受けながら勉学に励んでいます。お陰様で7月の日本語能力試験では、多くの学生が目標のレベルに合

格しました。ボランティア活動やアルバイト先からも「とても一生懸命に取り組んでいる」「まじめに働いてくれるので非常に助かっている」など、高い評価をいただいています。

留学生たちはコロナ禍であっても日本を選んで来日し、困難な生活の中でも明るさを失わずに精力的に活動しています。



遠足のようす

そんな彼らに、私たちも日々励まされています。人口減少が続いているこの地域にとっても若く元気な留学生の存在は、非常に大きいのではないのでしょうか。一刻も早く入国制限が解除されることを願います。

<ひたち生き生き百年塾推進部会>

今年の4月、百年塾に「世界おもしろ発見クラブ」が誕生しました。これは皆さんと共に「外国の見える街・日立」を目指す企画です。対象は日立市内の小・中学生で定員は10名。海外の子どもの生活や社会活動のようすをEメール交換で入手しお互いを知り理解を深める一方で、外国人や海外での体験豊富なゲストを招きお話を聞き意見交換するセッション、さらにメールの英文コメントを書く練習もします。

現在小学生8名が在籍し英国ノッティンガム市郊外の町ゴウテムの子ども達と交流中です。近い将来には動画プレゼンテーションも視野に入れます。話題の展開も楽しみで、身近な内容からSDGsに関するものまで広がり期待されます。活動の様子は国際理解の展示会やJWAYニュースなどで発信されています。外国という鏡に自分を映すと、今の自分がどうなのかよくわかりますね。

<ひたちとアジアの文化交流をすすめる会>

例年5月に開催していた総会は、コロナ禍のため、書面審議による開催となりました。

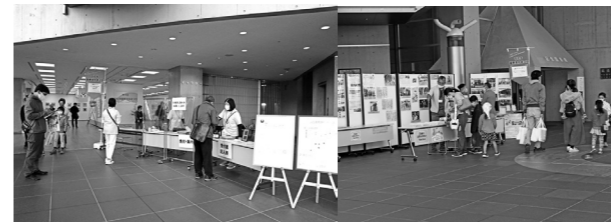
その後、6月と7月に「定例会」を開催。今年度の活動について話し合いました。8月1日に開催したアジア文化講演会「新型コロナ時代のSDGsとアジア」(1ページ参照)は旬のテーマであり、意義のある内容豊かなものとなりました。

8月6日からの緊急事態宣言の中、正副会長及び各チーム長と事務局で、度々リモート会議を開き意見交換をしました。対面ではありませんでしたが、しっかりとコミュニケーションはとれたように思います。今後も会の運営に、リモート会議は有効な手段となることを実感しました。

「第19回ひたち国際文化まつり」開催のお知らせ

「ひたち国際文化まつり」は、国際交流の輪を広げていくために、日立市内で国際交流や教育に携わっている団体の力によって創られています。今年も、国際交流や異文化への理解を深めることを目的として、様々な企画を実施します。世界各国の文化をとおして、新しい世界を広げましょう。

期 日 令和3年11月7日(日) 午前10時から午後4時まで [展示コーナー] 11月3日(水)～7日(日) 午前10時から午後5時まで (最終日は午後4時まで) 場 所 日立シビックセンター アトリウム、ギャラリー、多用途ホール、会議室 入場料 無料(一部コーナー有料) お問い合わせ ひたち国際文化まつり実行委員会事務局 (日立シビックセンター内) Tel 0294-24-7711	参加団体名 国際交流ボランティアネットワークさくら	内 容 インターナショナルトーク 「わたしが今日本/日立にいる理由」
	ひたち生き生き百年塾	日立の子どもたちの国際交流活動 百年塾ワンダースペース
	日立国際交流協議会	姉妹都市交流パネル展
	日立さくら日本語学校	学校紹介 「やさしい日本語」で話しましょう
	日立市日中友好協会	パンダアートコンテスト日立市内展
	ひたちとアジアの文化交流をすすめる会	外国人による「わたしのふるさと写真展」
	フレンドリーあんず	活動の記録写真展 遊びの広場 外国人による生け花展示
	JICA 茨城デスク	茨城から世界へ JICA×SDGs パネル展
	国際教育交流ネットワーク機構	活動紹介ほか
	日立第一高等学校	カナダオンライン研修展示



昨年の文化まつりのようす

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または内容を変更する場合があります。

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2021年3月～

◆第35回さくら講演会に参加 【5/15 日立市民会館】

国際交流ボランティアネットワークさくら主催により日立市民会館で開催されました。講師は、シリア・アラブ共和国出身のムハンマド・ナジーブ・アルヘブラウィさん。現在、茨城大学大学院理工学研究科において社会インフラシステム科学専攻に在籍。直接聞くことがなかなかできないシリアの状況について、歴史を踏まえ聞くことができました。当会の会員も含め30人程の参加がありました。

◆日立市日中友好協会総会に参加 【6/12 日立シビックセンター】

日立シビックセンターで開催された総会に出席しました。新型コロナウイルス感染予防対策のため通常の会議室の定員が半分となっており、茨大工学部中国人留学生は会員の代表のみの出席となりました。活動方針の審議が主で、恒例の留学生の講話や交流会は行なわれませんでした。今回は、人事が大幅に若返り、会長に藤井氏が就任し、前会長の森氏は常任顧問に就任しました。

◆第164回日立国際交流協議会企画部会に参加 【7/29 日立市役所】

日立国際交流協議会は、日立市が事務局を務めている団体で、国際姉妹都市交流や在住外国人支援などの活動を行っています。今回は、外国人が住みやすいまちづくりを進めるための取組として、外国人への効果的な情報発信についてと、防災・災害時の対応について具体策を検討しました。昨年中止になった在住外国人向けの施設見学会については、日立シビックセンター科学館サクリエ等を見学することで検討しました。